



舗装再生と中温化技術の最前線 (SPring-8が拓けた世界)

舗装分野においては、CO₂排出削減等の環境負荷の低減や、再生骨材利用による資源循環の促進が重要な課題となっています。これらの解決には、従来からの目視点検を主体とした事後保全から劣化予測に基づいた予防保全へ移行する必要がある、この劣化予測においては、大型放射光施設SPring-8を活用したミクロレベルでの損傷要因を究明する取組が非常に重要な役割を果たしています。これらの研究結果に基づき、新技術や新工法を創出し、それを社会実装につなげることが強く求められており、その最新事例を紹介します。

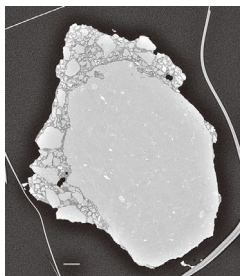


SPring-8全景

担当部署 事務局 担当者 岡澤・柏原

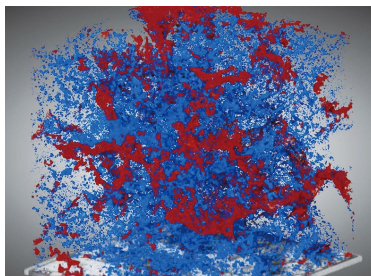
Tel 075-753-3543

新規混合物の観測例



新規骨材の周囲に、アスファルト・モルタル被膜が確認できる。空隙も確認できる。

アスファルト混合物内部の空隙



SPring-8において確認した供試体の空隙を画像処理しました。

SPring-8での勉強会



活気ある意見交換を行い、各テーマにおける次のステップが明確になりました。